

マイナンバー始まる!?

国民の大多数が存在すら知らされていないマイナンバー制度の実施を中止させるための訴えを24日の駅頭宣伝で行います。ぜひご参加ください。制度の中身については支部事務所で詳しく説明しますのでお問い合わせください。



けんせつ 清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
発行者 尾 芦 富 雄
編集者 砂 川 恵



大人も子どもも

楽しかった!盛り上がった!!

流しそうめん交流会



例のBBQ、かき氷、たこ焼き。今年から「青年部のカレー」も会場を賑わせました。3階では主婦の会からバルーンアートと、シニア友の会から竹細工。そして滝山分会の山岸さんから、サプライズのカブトムシのプレゼント。子ども達は楽しんでくれたかな?

前々日、前日と事前準備を行った役員の方々の皆さん有難うございました。来年もできたらいいと思います。来年も



上: 主婦の会のバルーンアート。かわいいお花に子どもが大喜び。下: みんな揃って大満足の笑顔「楽しかったぞ~!」



清里分会 徳武弘士
参加者も一緒に手伝い。美味しいたこ焼きが焼きましたよ。



清里分会 徳武弘士

参加者も一緒に手伝い。美味しいたこ焼きが焼きましたよ。

原水爆禁止2015年世界大会

8月4・5・6日の三日間、原水爆禁止世界大会広島大会へ、支部からは2名の代表を、東久留米市の代表団の一員として派遣しました。若き代表団の報告です。

若い仲間伝えていく

今回、原水禁世界大会・広島大会に参加させていたいただき、ありがとうございます。自分自身あらためて考えさせられました。

広島大会は、会場となったグリーンアリーナ(広島県立総合体育館)に、3400人の参加者、20カ国140名以上の各国代表が参加し、始まりました。今年、被爆70年という事もあり、広島・長崎の被爆についての考えや認識が



被害があった所に行つて話をしてもらい、戦争の悲惨さや苦しみを知り、「人類と核は共存できない」という言葉を認識しました。今回の二泊三日という短い時間でしたが、勉強させてもらった事を、若い仲間たちに少しでも伝えていけるように勉強していきたいと考えています。

滝山分会 柳橋直史

核兵器の恐ろしさに

鳥肌と恐怖感

終戦70周年と言う節目の年に広島大会に初参加する事が出来き、いい体験が出来ました。ありがとうございます。正直、今回参加させて頂くまで、戦争の恐ろしさは



2日目の活動で遺跡めぐりを案内して頂いた方は被爆の影響で片耳が聞こえない方でした。その方が定年退職しボランティア活動で若い世代に戦争の恐ろしさを伝えたい!と話していました。

原爆ドームを自分の目で見たのは初めてでした。核兵器の恐ろしさを目の当たりにし、鳥肌と恐怖感が身体の中から湧き起こりました。原爆が落とされ数秒足らずで人が人でなくなり、建物がチリとなり辺りは恐怖と絶望しか残らなかったと話を聞きました。今自分の足で立っている所で70年前恐怖のドン底に引きずられた事を考えると言葉も出ませんでした。

戦争法案が通れば、日本人の手で核兵器や軍人を運送したりします。核兵器の被害を受けた日本人が核兵器で被害をもたらす手助けをする事が許せません。なんともしも廃案させたいです。自分の目と足で戦争について調べたい、そして同じ世代の仲間や下の世代に自分たちで伝えていかなくてはならないと思います。

労働組合や政党が中心の運動から、個人個人が自発的に参加する集会へと発展してきています。今日の集会を力に、戦争への道を絶対にやめさせる。本当に止める。松竹分会 阿部史夫



戦争法案、本当に止める

12万人の巨大な人の波

戦争法案の廃案と、安倍政権の退陣を求める巨大な集会が、8月30日(日)、国会周辺などでおこなわれました。行動を呼びかけた、「戦争さ

私達東京土建

は、国会図書館前に集合。12時過ぎに着くと、まだ、

ヨユ。しかし、始まる2

時ごろになると、身動きが

できない状態に。そして国

会へ向け、戦争法案今すぐ

廃案!九条守れ!安倍政権

ベきだと思いつながらツイッ

ターを見てみると、上空へ

りからの写真が。国会正門

前の車道には、人々。人

が多すぎて、バリケードが

辺だけでなく、日比谷公園

までとしました。どこも人

がいっぱいいます。参加者は、

若い人からお年寄り、子ど

も連れと、幅広い年齢層で

書記局 永井駿介

仲間を増やそう！

笑顔の秋が始まりました



例年の開催よりも一週間早い8月23日(日)、東久留米商工会館で活動者会議&秋の拡大出陣式が行われ、全分会から70名が参加しました。活動者会議前半は告坂前東京土建本部書記長を講師に迎えて「たまたか」で学び、学んでたまたか

「拡大する！」の講演を聞き、改めて東京土建の仲間達の運動を学びました。後半は各分会に分かれ、9月と10月の計画作りとスローガン横断幕を作成しました。訪問行動と合わせて、分会独自の楽しみイベントも続々と計画されています。



活動者会議が終了すると、いよいよ出陣式。乾杯が待ちきれないのをぐつと堪えて、本部の



多くの仲間です。翌週、30日(日)は一日活躍拡大行動。主婦の会の母ちゃん食堂が開店し、「冷やし中



上：組織部長とジャンケンゲーム。勝ち取った景品でBBQするぞ～
左：『母ちゃん食堂』初メニューの冷やし中華も美味！大盛り！ごちそうさまでした！



華始めました」の文字が。柳本会長から「外は涼しいけど、暑い行動の後ほきつと美味しいですよ！」と激励をうけました。あいにくの雨でしたが、仲間への訪問と対話、チラシ配布など『暑い行動』を行いました。昼食には、美味しい冷やし中華をたっぷりいただきました。拡大月間は仲間を増やす

と同時に、つながりを作り、運動を進めていく期間でもあります。多くの仲間が東京土建を、建設業を、盛り上げていきましょう。この秋の支部スローガンは『みんな笑顔で楽しい拡大！』です。

書記局 砂川恵

シニア友の会竹細工教室

職人芸バランストンボ

8月2日、子ども2人と早めの昼食をとった帰り道12時すぎ、自転車の前と後ろに荷物をついて、積んだ松竹分会の岸實さん発見!!本日の工作教室の意気込みを感じました。自分は慌てて子どもを家にお返し、教室に向かい



なさんと川本さんなど10人ほどが集まっております。早速教室が始まりました。パーツごとに分けられた竹、小刀、ローソク、親切な図面を



どが用意されており、岸さんの指導のもと、みなさん真剣な表情で作り始めました。

羽を削り胴を削り、胴の先をローソクであぶりながら曲げるのですが、どれも中々難しく、自分はトンボを台に乗せることも出来ませんでした。結局岸さんの手を借りてなんとか完成。あつという間の2時間でした。これを手紙に作ってしまおうさん、まさに神技職人芸、感



主婦の会 手作り交流会「吊りしのぶ」

7月25日(土)支部事務所3階で「吊りしのぶ」を作りしました。参加者は26名でした。

まず、植物を入れる吊り木枠を作る事から始まりです。これは、滝山分会の小松信男さんと山岸良春さん、二人の組合員さんのご協力です。320本の木枠を作っていました。



ました。講師になって下さった山岸妙子さんの指導で、針金を通し、植物を入ると、涼を呼ぶ「吊りしのぶ」の出来上がりです。思いの外出来映えに、皆満足そうな表情。参加者からは、下準備をしていたからとでもやりやすかった。前回の企画もよかったが今回も楽しめた。次回もよろしくと喜ばれました。

制作後は主婦の会が用意したカレーを食べながら、おしゃべりの交流も出来ました。元塩分会 石垣市子

湧水

修理になるかもしれない」と言われるが、皆さん90才を過ぎてそれなりに過ごしている。

今ふりかえれば、無趣味で、仕事・仕事、組合で年月を重ねたようにも思える。昨今、

私にはいくつかの長いおつきあいがある。一番長いのは仕事のお客様です。15才で上京し、最初に親方と行ったのが始まりで、今年で52年になります。その人は97才になり、一人で暮らしていき

100年を超すという家を改築させていただいた。18才でお嫁にきて毎日3回拭いたという板廊下は今でも黒く光っている。女中さん、小姓さんの部屋、3畳間ではあるがそのままでした。

「命を落としますよ」という医者のお言葉に脅かされ、加齢と共に言われても納得できず、永遠の旅へのカウントダウンの始まりかと考えた日もあった。しかし、お客様の『笑顔でいなさい』という言葉

長ーいおつきあい



時々顔を出すのです。いつも「おかえり」と迎えてくれます。そして私の顔を見て、今日は疲れているみたい、又は体調悪いのかと心配してくれます。大丈夫と答えると、それなら『笑顔でいなさい』と言われます。

次に長いのは女房で、ケンカもしながら46年間お世話になっていました。次に組

て人生のUターンをしたと思う。清里分会 古名孝二